

笑顔あふれるまちづくり



いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員

NO. 293. 2007. 7. 8.

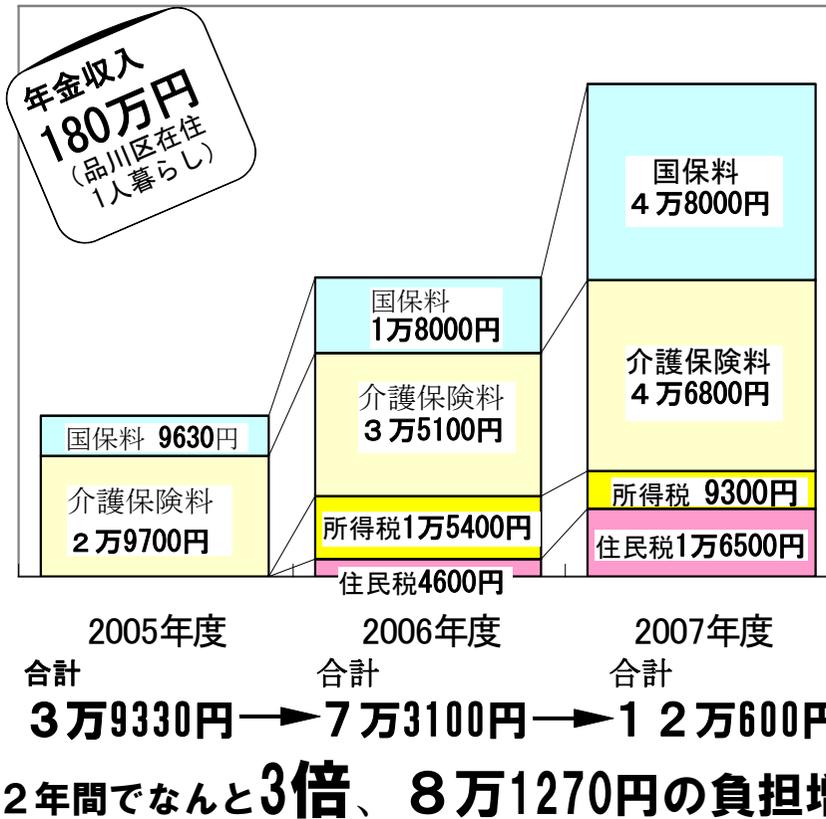
反対「住民税・国保料軽減求める請願」

これでいいのでしょうか品川区議会

賛成「金持ち優遇撤廃さらに延長条例」

右の表をご覧ください。昨年からの定率減税廃止と年金課税の強化のよりサラリーマンから年金暮らしの方まで負担増は大変なものです。税務課への苦情・問合せは8300件に及んでいます。今回の請願は、①住民税増税分を元に戻し低所得者への減免②国民健康保険料

の引き下げと低所得者への減免を区に求めています。条例は、株譲渡益への課税減額をさらに一年間延長するものです。まさに庶民いじめの増税と大企業・金持ち優遇撤廃に対し、各会派の姿勢が問われる審査でした。共産党は請願に賛成、条



「大幅負担増！払えない人への軽減策を区で考えよ」・・・共産党

6月25日区民委員会で、区民からの請願「住民税・国民健康保険料の軽減を求める請願」と「特別区税条例の一部を改正する条例」の審査が行われました。共産党は「庶民には大増税、金持ちには減税」の不公平税制改善のため力を尽くしていますが、与党議員は容認、安倍政府と同じ姿勢です。



例には反対の態度をとりました。自民、公明、民主、無所属クラブの各委員は、請願に反対、条例には賛成しました。発言の要旨を紹介します。



自民党 (鈴木議員)

「所得が少ない方は住民税の減税というが、所得税の中で対応していただいている部分が十分ある。国民健康保険についても、所得が少ない弱者の減免措置はすでにある程度やっている部分がある」とのべ、請願に反対。

条例には、「株価が下がる」と日本全体の景気が下がると賛成。自民党には区民のくらしの実態はみえず切実な声も聞こえていないので、定率減税廃止した責任も感じていないようです。



公明党 (山路議員)

「定率減税が廃止になって、実際には税が上がっていないということだが、上がっていると錯覚している。定率減税になって元に戻したわけです。増税ではないわけですね。増税と言ったのは全く当たらない」と請願に反対。

条例には賛成。恒久減税だった定率減税の廃止を最初に言い出した責任逃れに終始しました。



民主党 (稲川議員)

「税金は義務で、払うべきものはしっかり払うべきだ。・・・庶民イコール税金が払えない。国民健康保険料が払えないというのは、私はそれは間違っていると思いますよ。・・・ネットカフェ難民という話しはありましたが、その話だつて贅沢じゃないですか、お金を払ってそこにいられるんだから」と発言し請願に反対。

条例には賛成。民主党には「格差と貧困」の広がりが見えないのでしょうか。もと民主党は自民・公明の「大企業減税・庶民増税」路線と同じ流れです。消費税も「増税は避けられない」(鳩山幹事長)と発言しています。



無所属クラブ (渡部議員)

「(請願は)不採択だと考えております。・・・確かに地域の方々から、この件に関する声が多いのも事実です。ただ、それに関してはやはり所得税のカウント

等について、私たちが広報マンになって、これは聞かれた方に答えていかなければならない」と発言。自ら増税の説得役になろうというのでしようか。
条例に対しては「株を取得しやすくする、企業が株を管理しやすくする」と賛成。



共産党 (安藤議員・飯沼)

「区民の声をしっかり受け止め区民の生活を守るのが自治体の仕事。負担が重すぎて払えない人への対策(川崎市のように)が必要。」

「国民健康保険料が高すぎる原因は、国庫負担分を削減し続け毎年値上げである。国の減免制度では十分で滞納が増えている。減免制度の拡充が必要であり請願に賛成。」

「庶民の定率減税を廃止し増税を押し付け、一方金持ち優遇の減税を続ける不公平な条例には反対しました。」

秋には消費税増税の動きが心配されます。税金の集め方、使い方おかしいと思いませんか。定率減税と導入された大企業の法人税減税と資産家のための最高税率の引き下げはそのままに温存して庶民にばかり負担を押し付ける。不公平な税制と税金の無駄使いをなくすための引き続き頑張ります。